



「地域のカ」診断ワークショップ報告

質問票・アンケート集計結果&ワークショップ



開催日時:2017年6月26日(月)13:30~16:00

場所:喫茶「狐狸庵」

主催: 大布施自治振興会 / 大布施地区社会福祉協議会
社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会

一般財団法人 CSO ネットワーク

目次

「地域の力」診断ツールの結果まとめ	...	P. 2
1. 質問票の集計結果 ～分野別平均～	...	P. 3-4
2. 質問票の集計結果 ～質問ごとの平均～	...	P. 5-6
3. 主観的幸福度 ～アンケート回答結果～	...	P. 7-8
4. 主観的幸福度 ～記述回答結果～	...	P. 9-10
5. ワークショップ報告	...	P. 11
6. 終了後のアンケート集計結果	...	P. 12

「地域のか」診断ツールワークショップ 質問票・アンケート集計結果ご報告

2017年6月26日(月)13:30~16:00、黒部市植木にある喫茶「狐狸庵」にて、大布施自治振興会 / 大布施地区社会福祉協議会、社会福祉法人黒部市社会福祉協議会および一般財団法人CSOネットワークの主催による「“地域のか”診断ツールワークショップ」が開催されました。

当日は、大布施地区の地域住民組織の役員の方を中心に14名の方がお集まりくださり、スタッフを含め総勢21名で、地域診断を行うとともに、診断結果や地域の現状について話し合いを行いました。

以下、「“地域のか”診断ツール」を開発したCSOネットワークより、「地域のか」診断ツールの結果およびワークショップの様子を報告させていただきます。

「地域のか」診断ツールの結果まとめ

- ・ご参加者の評価が高かったのは、「共生社会」と「暮らしと健康」の分野でした。「共生社会」では、「困った時に相談できる人がいる」「ボランティア活動が盛ん」など地域コミュニティの豊かさが評価されました。一方「暮らしと健康」では「地域の治安の良さ」が多くの参加者から高く評価されました。
- ・比較的評価が低かったのは「公共施設」と「経済」の分野でした。「公共施設」では「地域の活動拠点がある」以外は、「空き家の把握・活用」ははじめいずれも低い評価でした。また「経済」の分野では、「事業の後継者」の問題や「地域資源を生かした取り組み」がやや低い評価となりました。
- ・主観的幸福度アンケートでは、回答された全ての方が、地域を誇りに思い、地域に住み続けたい、子どもにも住み続けたいと感じておられました。誇りの理由としては、「人の良さ：住民同士が協力し合い活動にも積極的である」ことや「環境：生活環境・治安・自然」などが挙げられました。

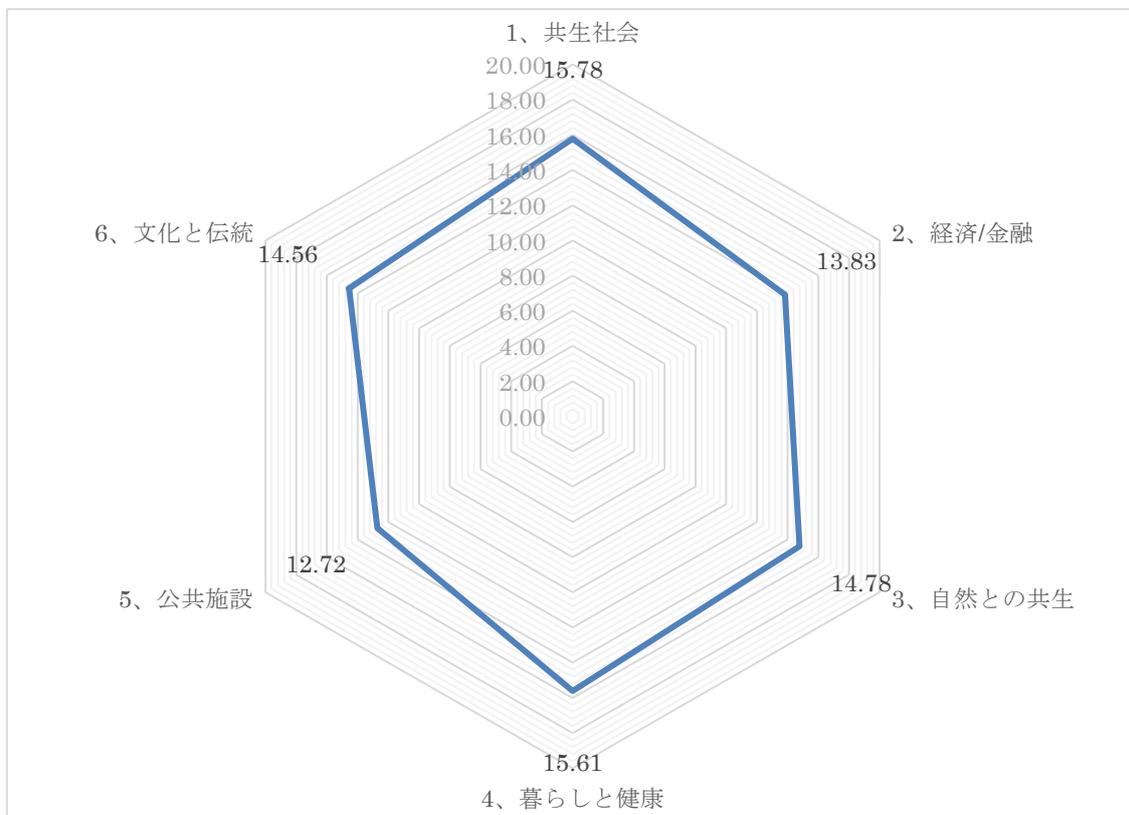
1. 質問票の集計結果 ～分野別平均～

ご参加者の回答を6つの分野ごとに集計し平均を出しグラフ化しました。各分野5問、1問が1点～4点の20点満点で、真ん中の値は12.5点になります。平均の高いものはピンクに、比較的平均の低いものを水色に色をつけています。また、回答のばらつきを見るために標準偏差の値も算出しました。

参加者全員の平均と標準偏差

	1.共生社会	2.経済・金融・産業	3.自然との共生	4.暮らしと健康	5.公共施設・設備	6.文化・伝統	全分野平均
平均	15.78	13.83	14.78	15.61	12.72	14.56	14.55
標準偏差	2.12	1.74	1.96	1.46	2.78	2.67	2.12

*標準偏差：回答のばらつきを見る指標で「(平均値-標準偏差)～(平均値+標準偏差)」の間におよそ7割の回答が存在すると言われています。



- どの分野も、真ん中の値である 12.5 点を上回っていることから、大布施地区は、持続可能性をはかる「診断ツール」の観点において、地域の方々から、総合的にかなり高く評価されていることがわかりました。
- 特に評価が高かった分野は、相互扶助の豊かさやボランティア活動の活発さ等の質問を中心に、全般的に評価の高かった「共生社会」の分野と、特に治安と子育て環境への評価が高かった「暮らしと健康」の分野でした。
- 一方、比較的評価が低かったのは、空き家や自然エネルギーに関する評価が低かった「公共施設」の分野と、第一次産業や事業所の後継者問題および地域資源を生かした産業に関して評価の低かった「経済」の分野でした。
- 参加者全員の平均が 15 点以上という非常に高い評価となった「共生社会」と「暮らしと健康」ですが、回答のばらつきを表す標準偏差を見てみると、「共生社会」はやや回答にばらつきがあり（13.67～17.91 の間に約 7 割が分布）、「暮らしと健康」は比較的ばらつきが小さいことがわかります（14.15～17.07 の間に約 7 割が分布）。「暮らしと健康」に関する高い評価は比較的多くの方々に共通している一方で、「共生社会」は、回答者や質問によって評価に差があると言えます。
- 一方、相対的に評価の低かった「公共施設」と「経済」に関しても、標準偏差により、回答のばらつきに違いのあることがわかります。「公共施設」は標準偏差の値が最も高く、評価のばらつきの大きいことがうかがえます。これは特に、公共交通機関と空き家に関する評価が人によって異なることが原因と考えられます。「経済」の分野に関しては、標準偏差が低いことから、この分野への比較的低めの評価は回答者の皆さんに共通していると考えられます。

2. 質問票の集計結果 ～質問ごとの平均～

6つの分野の30問の質問毎に、回答者の平均を算出し、平均の高い質問、低い質問をリストにしてみました。

平均の**高い**質問リスト

順位	指標	分野	内容	平均	標準偏差
1	Q. 23	5. 公共施設	地域の活動拠点がある	3.78	0.42
2	Q. 19	4. 暮らしと健康	地域の治安	3.61	0.49
3	Q. 11	3. 自然との共生	環境保全・景観保全の活動が盛ん	3.39	0.49
3	Q. 29	6. 文化と伝統	スポーツ・芸術・食等の催しが盛ん	3.39	0.59
5	Q. 1	1. 共生社会	困った時に相談できる人や場所がある	3.33	0.75
5	Q. 13	3. 自然との共生	家庭菜園・市民農園等への関わり	3.33	0.58
7	Q. 2	1. 共生社会	ボランティア活動が盛ん	3.28	0.56
7	Q. 6	2. 経済・金融	雇用の機会が多い	3.28	0.73
9	Q. 8	2. 経済・金融	地域内の商店をよく利用する	3.17	0.69
9	Q. 14	3. 自然との共生	リサイクル・リユース活動が盛ん	3.17	0.60
9	Q. 26	6. 文化と伝統	文化財の保存・継承が盛ん	3.17	0.69

- 「Q23：地域の活動拠点がある」「Q19：地域が治安の面で安全である」に関しては、3.5点を超える非常に高い平均値となっており、標準偏差の値も低いことから、この二つの質問には多くの方が4点の「そう思う」と回答していることがうかがえます。
- 分野別平均で比較的評価の低かった「公共施設」や「経済」に含まれる指標が、「Q23:地域の活動拠点」をはじめいくつか上位にランキングされていますが、これらの指標への評価の高さは、同じ分野の他の指標の評価の低さに隠されてしまい、分野の平均だけを見ているとわからないものと言えるでしょう。
- 「Q1:困った時に相談できる人や場所がある」は、この中では最も標準偏差の値が高くなっており、個人差の出やすい質問といえるでしょう。

平均の低い質問リスト

順位	指標	分野	内容	平均	標準偏差
1	Q. 25	5. 公共施設	空き家の把握・活用の取組	1. 94	0. 91
2	Q. 24	5. 公共施設	自然エネルギーへの取組	2. 00	0. 82
3	Q. 9	2. 経済・金融	一次産業や事業所の後継者	2. 06	0. 78
4	Q. 10	2. 経済・金融	地域資源を生かした取組	2. 33	0. 75
5	Q. 15	3. 自然との共生	持続可能な一次産業	2. 39	0. 49
6	Q. 22	5. 公共施設	外出、買い物等支援の取組	2. 44	0. 76
7	Q. 12	3. 自然との共生	耕作放棄地を減らす活動	2. 50	0. 83
8	Q. 21	5. 公共施設	公共交通の整備と利用	2. 56	0. 96

- 「Q25:空き家状況の把握と活用の取り組み」に関しては、全体の平均が2点を切る低い評価となりました。「取り組まれている」「どちらかというに取り組まれている」という評価する回答をした方もおられましたが、回答のばらつきも大きく、取り組みが共有されていない印象です。
- 分野別平均で比較的评价の低かった「公共施設」の質問が4問ランクインしています。いずれも標準偏差の値が高めなことから、回答者の情報量や見方によって、評価が異なっていることも想像されます。
- 「経済」分野の「Q9：一次産業や事業所の後継者の有無」と「Q10:地域資源を生かした外部の人を惹きつける取り組み」がやや低めの評価となりました。比較的评价の低かった「経済」分野の中でも、課題となる部分かもしれません。
- また、分野としては一定の評価を得ていた「自然との共生」の分野の中でも、「Q15:持続可能な一次産業の実施」、「Q12:耕作放棄地を減らす活動」の質問については比較的评价が低いことから、今後検討する余地のあるテーマかもしれません。

3. 主観的幸福度 ～アンケートの回答結果～

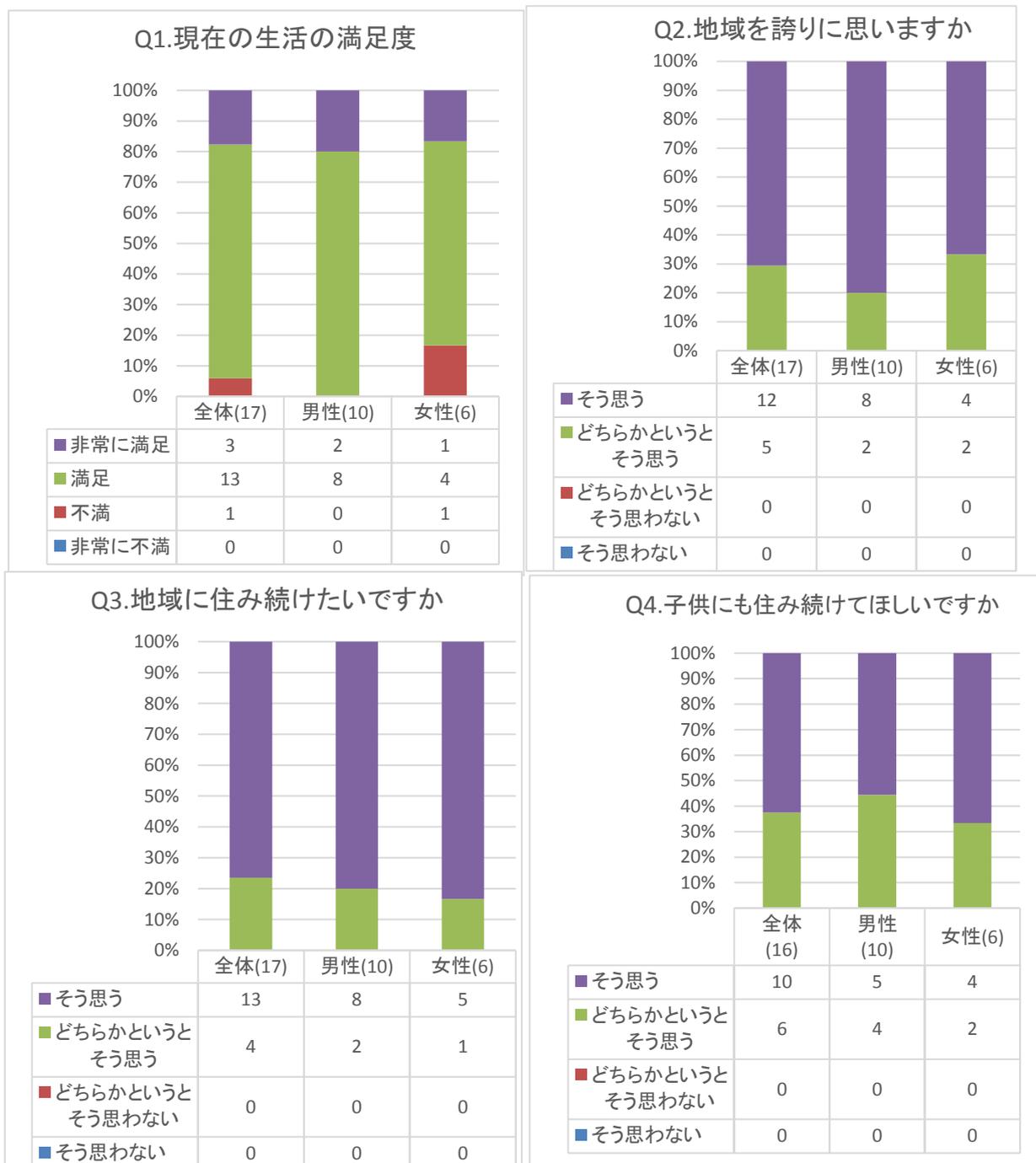
別紙にてご回答いただいた主観的幸福度に関する5つの質問についても、全体・世代・性別・地域に分けてまとめてみました。

全体・性別・年代別平均

指標	全体 (17)	男性 (10)	女性 (6)	20代 (2)	30代 (1)	50代 (5)	60代 (3)	70代 (5)
Q.1 生活に満足	3.15	3.2	3.00	3.5	3	3.1	3.00	3.2
Q.2 地域への誇り	3.71	3.8	3.67	3.5	4	3.6	3.67	4.00
Q.3 住み続けたい	3.76	3.8	3.83	4.0	4	3.8	3.67	3.8
Q.4 子ども住み続	3.63	3.2	3.67	4.0	4	3.2	3.67	3.75

※点数が大きいほど高評価で、色が濃くなっています。

- 性別、世代を通してほぼ全ての方々が、地域に誇りをもち、地域に住み続けたいと回答されました。また、多くの方々が、子どもにもこの地域に住み続けてほしいと考え、地域の生活に満足されていることが示されました。
- 「Q1:生活への満足度」や「Q2:地域への誇り」については、やや男性の方が高い結果となりましたが、「Q4:子どもにもこの地域に住み続けてほしいですか」との質問に対しては、女性の方がより住み続けてほしいと考えていることが示されました。
- 「Q2:地域への誇り」については、(年代に人数のばらつきはあるものの)、年代が上がるほど平均が高くなっており、地域をよく知り、地域に永く関わるほどに地域への誇りを強く感じておられることが想像されます。
- 地域に住み続けたいとの回答が多い中でも、特に、20代、30代の若い方々の「Q3:住み続けたい」「Q4:子どもに住み続けてほしい」という気持ちが強く示されたことは注目に値すべきことと思われまます。



- 「Q2:地域への誇り」「Q3:地域に住み続けたい」への回答に比べて「Q4:子どもにも住み続けてほしい」の回答は、やや「どちらかというと思う（黄緑色）」の割合が多いことが見てとれます。
- 「Q1:現在の生活への満足度」では、選択肢を「4:非常に満足」「3満足」としたために、平均値が下がった可能性も考えられます。

4. 主観的幸福度 ～記述回答～

「Q2:地域を誇りに感じている」と答えた方と、「Q3:地域に住み続けたい」「Q4 子どもにも住み続けてほしい」と答えられた方々の、誇りの理由、住み続けたい理由は以下になりました。

1. 「地域への誇り」に関する記述回答

Q2-2.どんなところを誇りに思っていますか。 (「3.:どちらかという誇りに思う」「4:誇りに思う」と回答された方の理由)	
3	老人がゆっくり暮らすにはよい所と思う。しかし老人優遇はこれぐらいにして若者を大切にしてほしい
3	世代を超えて行事や活動に取り組もうとしているところ
3	地域での暮らしのよさと環境が良いことです
3	人が良い
3	元気いっぱいである
4	地域にボランティア等で係わることが嬉しい
4	住みやすさ
4	地域の為に働く人が多い
4	発展しつつある姿、安定した生活水準
4	地域の皆様に受け入れてもらい多くの人々と交流し、日々の生活に充実感を覚えているからです。
4	よりまとまっている
4	みんなが思いやりを持って接してくれるところ
4	生活環境、地域の連携
4	地域の活気、住民同士のつながり
4	個性豊かで協力性がある
4	自然が豊か、住民の方々の人柄があたたかい

- 多くの方が「人の良さ」と「住みやすさ」を誇りの理由に挙げられました。住民同士が協力しあい、地域の活動に積極的に取り組んでいる姿に、誇りを感じておられることがうかがわれます。「住みやすさ」は、暮らしやすい生活環境、安定した生活水準、豊かな自然環境などを含むものと思われます。

2. 子どもたちに住み続けてほしい、あるいは地域に住み続けたい理由

Q3、4にそのようにお答えになった理由は何ですか。 (3.どちらかというに住み続けたい、子どもたちに住み続けてほしい 4.住み続けたい、子どもたちに住み続けてほしい)	
3	人とのつながりの中で生活してもらいたいから
3	生活面でよく、施設環境が充実されているところです。安心、安全面でよいということです。
3	子どもの自由があるから
3	生まれた地域のよさを感じ続けていてほしいと思うから
3	自然豊かで生活するには困らない地域だと思います
4	地域の良さ、伝統をつないでほしい
4	環境のよいところで心を豊かに育ててほしい
4	地元を大切にしてもらいたいから
4	安全で安心して暮らせる地域だから
4	平和、自由
4	生活の基礎が黒部市大布施にあるのでぜひ住み続けてほしいです。親が受けた思いを子の代で皆様に返してほしいと思います。
4	ずっと近くにいてほしいから
4	子どもは他県に在住

- 子どもたちに住み続けてほしい、あるいは地域に住み続けたい理由としては、「生まれた地域の良さ」「伝統をつないでほしい」「地元を大切に」「親が受けた思いを子の代で返してほしい」等、生まれ育ったふるさとの良さを、世代を超えてつないでいてほしいとの思いが強く感じられました。
- 「安心安全」「平和、自由」「環境のよさ」「施設環境の充実」等、地域診断でも高く評価された治安や、医療・介護・教育等の生活基盤の充実が、住み続けたい、あるいは住み続けてほしい理由として挙げられました。
- 誇りの理由として挙げられた「人とのつながり」や「自然の豊かさ」も、住み続けてほしい、住み続けたい理由として挙げられました。

5. ワークショップ報告 グループ発表およびご意見

診断ツールの集計結果を踏まえ、地域に対する認識の違いや一致点について、3つのグループに分かれて話し合いを行いました。その後、グループでの話し合いの結果を、それぞれのグループから発表していただくとともに、感想、ご意見などを自由に出していただきました。地域社会の目指すべき方向性についての議論にも発展し、大変有益な話し合いになりました。

また、診断ツールに対する貴重なご意見もいただきました。今後、地域福祉活動計画策定等に向けての地域調査などに役立てていただくべく、より使いやすいツールの改訂に生かしていきたいと思います。

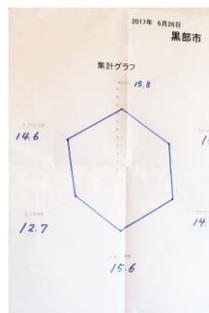
➤ 地域に対するご意見

- ・ 大布施地区の生活環境は良い
- ・ 花の植栽など景観保全の活動も活発
- ・ 家庭菜園を楽しんでいる方も多い
- ・ 職場は、働く母親に理解あり
- ・ 大布施地区の高齢化は 21.8%と黒部市の中では高い方ではないが、このような地域診断を年齢ごとに集約していくことも大切
- ・ 老人会も高齢化している。高齢者は健康寿命を延ばす努力と若い層のサポートを。



➤ 診断ツールに対するご意見

- ・ 若い世代が地域に定着するための「地域の魅力」づくりという観点での設問も必要では。
- ・ 質問が対象とする地域の規模と、診断する地域の規模が合わないものがある（自然エネルギーの質問など）。



6. 終了後のアンケート集計結果

終了後にご回答いただいたアンケートの結果を以下にご報告します。(ご回答 18 名)

★今回のワークショップに参加して、どのような感想をお持ちになりましたか。

1. とても有意義だった 7名
2. 有意義であった 10名
3. あまり有意義でなかった 1名
4. 有意義でなかった 0名

コメント (1. とても有意義だった 2. 有意義であった)	
1	市の広報でも内容(話題に出たことを)広めたらどうでしょう。
1	地域について率直な意見を交わせることができてよかった。
1	新しい企画に参加できて大変うれしく思いました。地域が元気にならないと市→国→世界も元気にならないと思います。今日の意見を明日に生かすよう私も努力しますが、主催者の方の一層のご健闘をお願いいたします。(子育てサポート員の設置など)
1	集計グラフの平均より自分が高い評価でびっくりした。もっと周りを見ないといけないと思った。おじいちゃん世代の方の話はとても興味深かった。
1	個々の意見を聞いて勉強になった。
1	地域の力を客観的に見ることができる機会になり、初めて体験できてよかったです。
2	地域を良くする為の取り組みについて考えさせていただけました。
2	たくさんの方々がこの様な話し合いに加わって頂いて地域の事に関心を持って欲しい。
2	終わりに近づき本質論(日本の社会)へ進めたのがよかった。
2	共生社会では私は19点であったが、平均は15.8でちょっとおどろきであった。事業や行事は多くの地域の皆さんにもわかってもらえるよう努力していきたい。
2	今後も地域の診断が必要に思う。
2	とてもいい経験になりました。
2	もう少し全体で話せる機会があればいい。
2	皆様のご意見を色々きいて幅広く考えることができました。ありがとうございました。
3	遅れてきたので今日の集まりの主旨はよくわからない。

参加された方々が、地域診断を踏まえご意見を交わしあう中で、地域を見つめなおす機会としてくださったことを嬉しく感じました。このようなワークショップを重ねる中で、地域の皆さんのコミュニケーションがより深まり、地域での活動がより活発になるきっかけにつながれば幸いです。ご協力本当にありがとうございました。



ワークショップ会場 喫茶「狐狸庵」

報告書作成日：2017年7月24日

報告書作成：一般財団法人CSOネットワーク（長谷川雅子・横山晴香）

連絡先：〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18 アバコビル5階

TEL: 03-3202-8188 FAX: 03-6233-9560

E-mail: office@csonj.org URL: <http://www.csonj.org>